

意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

採択

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

提出者 勝山 制議員

要旨

未来を担う子どもたちに、きめ細かに対応するため、少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期実施が不可欠である。

また、全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられるための国庫負担は、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって、定数改善計画の早期実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持、拡充に向け十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

採択

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

提出者 鈴木 一夫議員

要旨

私立学校は、国公立学校とともに国民の教育を受ける権利を保障する上で重要な役割を担っている。

よって、国の責務と私学の重要性にかんがみ、父母負担の公私格差を是正する就学支援金を一層拡充するとともに、併せて、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図られるよう強く要望する。

採択

愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

提出者 都築 重信議員

要旨

私立学校は、公立学校とともに県民の教育を受ける権利を保障する上で重要な役割を担っている。

よって、父母負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充するとともに、経常費助成についても国から財源措置のある「国基準単価」を土台に、学費と教育条件の「公私格差」を着実に是正できる施策を実施することを強く要望する。

採択

「手話言語法」制定を求める意見書

提出者 二井登喜男議員

要旨

手話は、ろう者にとって、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段であるが、ろう学校では禁止され、社会では差別されてきた歴史がある。

よって、国においては、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定することを強く求める。

委員会視察レポート

～他市町での取り組みを学ぶ～

文教厚生委員会

学校トイレ、給食センター民営化

神奈川県海老名市 平成26年6月24日
神奈川県中井町 平成26年6月25日

海老名市では学校のトイレ改修の視察で、すべの学校のトイレが明るく清潔に改修されていた。

中井町では学校給食センターの民営化についての視察を行った。給食の調理と、それに付随する業務が民営化されていた。

床はシート貼りで、多目的トイレの便器は温水シャワー付であった。阿久比町の学校トイレ改修の参考になるものと考えられる。

業者は入札により決められ、社員食堂経営会社、仕出し屋、弁当屋等から応募があり、現在は横浜の業者が行っている。

(山本 和俊議員)



海老名市立大谷小学校のトイレ
多目的トイレ(上)
一般トイレ(下)